

ぐるっと千葉 月刊

2

2017 Vol.199 470円
毎月21日発売

<http://www.gurutto-chiba.co.jp>



召しあがれ^{ロコニ}レゾ^ザー
ちばの新鮮牛乳
スイーツ編

誰かに
教えたい!

とっておきの

～新名物×珍×NEWスポットがいっぱい!～

南房総

みなみほうそう

楽しみながら「食」について学ぼう!
コープみらいフェスタ
きやっせ物産展2017

今月の
イチオシ!

干支の酉、をはじめ、華やかなつるし雛に彩られる
おんじゅくまちかど つるし雛めぐり
野生のイノシシや鹿肉の料理が続々登場!
房総ジビエフェア 2017冬

おいしい季節がやってきた!!
いちご園リスト



房・民・伝の旅

ほーと11

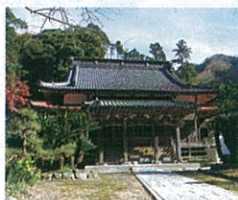
探

コードNO.199

取材・イラスト・文／ふじたいら

房・民・伝の旅とは、房総の民話や伝承を巡る旅の略だ。ただ、この旅にはルールが一つだけある。それは昔話があるだけではなく、実際に民話伝承に即した何かが残っている場所を巡る事。物証的なものがあると「もしかしたら…実話?」と思えて来るから面白い。今回も房総の不思議なおトギスポットをご案内致します。

勝善寺の飛び石 (南房総市二部)



勝善寺
・南房総市二部1344
・0470-57-2657

今から約400年前、検儀谷

黒石山(現在の南房総市と鋸南町の境付近)にあった勝善寺には村人から尊敬されていたお坊さんがいました。そんな信仰を集めていた勝善寺が、ある時火事で焼けてしまいました。心のより所を無くした村人たちは、協力し合って山の麓に新しいお寺を建立。その落慶のお祝いをしようとしていた時です。一天にわかに掻き曇り、雷鳴が!! 村人たちがざわめき出すと、突然一つの巨大な石の塊が空から落ちて来たのです。お坊さんは経を唱え、この事態を鎮めました。



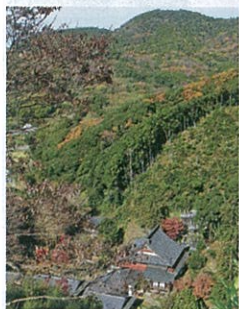
本堂南側の山の中腹にある飛び石。軽自動車程の大きさだ



飛び石の北側



飛び石の南側



飛び石から望む勝善寺



ヤブでおおわれた山道を伐採しながら飛び石に案内してくれた住職の井上孝昌さん

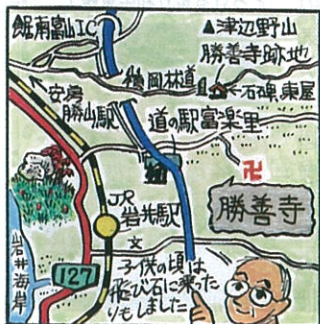


検儀谷の勝善寺跡地

これは是非見たい」と南房総市二部にある勝善寺を訪れました。勝善寺は800年以上の歴史がある古刹。周囲を山に囲まれ、隠れ里的雰囲気漂う仏域です。住職の井上孝昌さんに早速事の経緯を説明すると「面白い!! 南側の山にあります。一緒に行きましょう」と話はトントン拍子。「すぐですよ」という住職に続く数年前に整備したという山道は藪で覆われ、トンでもないあれ道になっていました(トントン拍子撤回)。



初代・後藤義光の彫刻
勝善寺本堂向拝には房総の三名工の一人初代後藤義光晩年の大作があります。これを拝するために参拝に訪れる方も少なくありません



私は長靴に履き替え登山姿。住職はナタを手には伐採しながら私を先導(感謝)。時々、足を滑らせながら登る事約30分。樫の横に巨大な白い岩が現れた。大きさは縦横2.5メートル。正方形に近い。「これが飛び石です。伝説の通り上から置かれたみたいなき感じなんです。ホントに飛んで来たのかも」と井上住職。正におトギスポット。ちなみに飛び石は境内から遠望可能。本堂向拝に施された名工・後藤義光の彫刻と共に拝すれば満足な民話旅になる事間違いなし!!